



第一 ぬまづ コミュニティ

沼津第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第25号 平成15年3月31日発行

平成十四年度県コミュニティ活動賞

優良賞を受賞

はばたき祭等を評価される

平成十五年二月二十二日、袋井市月見の里学遊館・うさぎホールにおいて静岡県コミュニティづくり推進協議会等主催のコミュニティ・フォーラム2003が開催され、第一地区コミュニティ推進委員会の活動が見事コミュニティ活動賞優良賞にさがやきました。

この賞は昭和五十六年度から開始され本年度で二十二回目をむかえる伝統ある賞で、地域でコミ活動を活発、積極的に推進している組織、団体のなかから特に優れたものに賞を贈り、表彰しているものです。

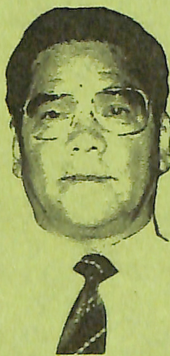
今回の受賞は、第一地区の「健康で住みよい地域づくりを目標とした活動が高く評価されたものであり、特に「はばたき祭」として、地域体育祭と小学校運動会を合同開催、地域三世代の交流機会として、また、家庭・学校・地域の一体化推

希望新たに平成十五年度を迎えよう

「コミュニティ活動ご苦労さまでした」

本年度にてご勇退の自治会

長の皆様です。コミュニティのためご尽力をいただきました。ありがとうございます。ご挨拶を一言ずつご紹介させていただきます。(順不同です)
末広町自治会 渡邊健吾会長



平成十三年、十四年の二年間お世話になりました。

コミ推進委員事務局長や青少年を健やかに育てる会、第

会と一緒にやるという新しい試みは、各世代のコミュニケーションを取る地域活動の一つの形として考えられる。このような課題を次のステップとしてコミュニティ活性化を図っていくことに期待したい。」とエールを贈ってくれています。

一小学校評議委員会、警察青

少年輔導委員会の各委員を務めさせていただきました。一人一人の力が集まって大きな力となります。今後とも第一コミをよろしくお願い申し上げます。

川廊町自治会 石渡保宣会長



平成十三年度より二年間お世話になりました。アパートを入れて27戸の小さな町内

なので人数が足りず(38人)、いつも皆様にご迷惑をおかけしました。

本年はコミの監査をおおせつかり、二度程監査をさせていただきましたが、皆様大変真摯に仕事に取り組まれ感服いたしました。

本当にお世話になりました。

今後の第一地区コミの益々のご発展を祈念いたします。

白銀町自治会 内藤廣海会長



平成十四年の一年間を務めさせていただき、子持川水系をきれいにする会会長、交通安全部会長、そしてコミ祭実行委員会会長をさせていただきました。「他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる」、そして「異心同体」ではなく「異体同心」の精神をもって、コミ推進委員会が今後ますます発展していかれることを念願しております。

「第一地区成人式盛大に開催」

「コミュニティの皆で新成人をお祝いしました」

去る一月十二日、恒例の第一地区の成人式が沼津軒で開催されました。午前十時からの式典には67名中57名の新成人のみなさんごが思い思いの晴やかな姿で出席、その後のパーティーでは同窓生同士の楽しい会話の場となりました。ちなみに出席率は86・7%、全市では79・3%とのことでした。



新成人としての抱負



勝 呂 舞さん
(八幡町)

自分が成人になるにあたり、式では綺麗に着飾って、単純に嬉しいと思う反面、社会で大人として扱われることに不安と寂しさを感じます。現在に至るまで、改めて自分自信を顧みることもなく、また、そこまでの精神的な

成長もとげていなかったため、一日一日があつたという間に過ぎてきました。

しかし忘れられない大切な思い出で溢れているのは、多くの素晴らしい人達との出会いがあつたからです。家族をはじめとして、親戚、先生、友人達と様々な形で関わり合い、実体験で学び、吸収し、成長してきました。

特に私は共に学んで、喜びも悲しみも共感してきた友人達を誇りに思っています。

周りの人間がいなければ、他人に対して優しさを持つて接することも責任を持つて生きることの重要さも理解することはできませんでした。

また、成長期にそのようにしっかりと生きていく大人が周囲にいたことを幸せに感じます。

自分を支えてくれた人に感謝し、新たな出会いに期待してこれからも進んでいこうと思っています。

「サンビュームしま」をたずねて

社会福祉部部長 関口昌司

三島社会保険病院が平成十三年現在地(三島市谷田)に移転するにあたり、社会保険庁管轄の介護老人保険サンビュームしまが併設されました。そこで今回、景観環境抜群の空間に余裕のある快適な施設を見学、研



修させていただきました。

入所対象は病状が安定期に入つた介護度5までの98名と通所30名。女性7割男性3割で、入所待ちは男性で2ヶ月、女性は半単位であり、沼津住民の利用割合は全体の2割を占めるということです。

入所期間は自立を目的に6ヶ月を原則とし、自宅に戻るのが条件だそうです。「入所者の誰もが家に帰りたい、又家族と暮らしたいと切望している」との相談員の方のお話がとても印象的でした。



地区センター休館日

- 4月
7. 14. 21. 28. 30.
- 5月
4. 5. 6. 12. 19. 26.
- 6月
2. 9. 16. 23. 30.
- TEL 963-5088

蛇松線今昔

真砂町白寿会 小林 信夫

第一地区を南北に細長く縦断している蛇松緑道が、実は昭和四十九年まで使われていた線路の跡地だということをご存知でしたでしょうか。

そうです、この街のなかを蒸気機関車が走っていたのです。この蛇松線と呼ばれた鉄道の思い出を真砂町の小林様にお聞きしました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

遠くから「ポーツ」と機関車の鳴らす汽笛が聞こえると、子供達は一斉に線路に耳をつけます。かすかに「ゴトンゴトン」と線路の継ぎ目を走り抜ける音が聞こえ、まだあの辺りを走っている、とその風景を頭の中に描くのです。街の中、家々の軒端をかすめる様に走るこの汽車は、いつも機関車の前のステップに赤と緑の旗を持った助手がいて、



さようなら

数多い道路を横断する時、ゆっくり走る機関車からさつと、とび降り先に走って安全確認のため道路のところに行きます。小さな道路を横切る時は首をのぼすように身をのり出して左右を確認し、緑の旗を振って機関手に安全を知らせます。横断道路のない時も油断ができません。軒を接する家々の洗濯物や風に飛ばされた木箱、大きなゴミが線路内に落ちていたり、悪童達が五

寸釘を線路上に置き、車輪にひかせて平らにして、鉛筆削り用のナイフを作ろうとするからです。

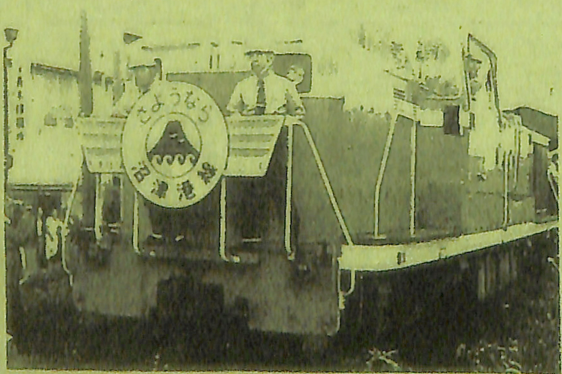
この蛇松線は沼津港と沼津駅を結ぶ物資輸送路として、明治四十九年敷設されました。初期の目的は東海道本線の函嶺以西の建設資材の輸送でした。また丹那トンネルもなく、道路も未整備、トラックもない時代、大量物資の長距離輸送は船舶しかなく、京浜地域の線路建設資材を陸揚げする港として沼津港が選ばれ、これを沼津駅まで輸送する専用線だったのです。そして東海道本線が開通した後も、西伊豆の船便の接続線として生産品や生活必需品の輸送に長く活躍を続けました。子供の頃、沼津内港に着いた船から人夫の人々が渡り板を使って、木炭を荷揚げし、それを貨車に積み込んでいたのをよく記憶しています。西伊豆の人々にとって、蛇松線は大切な生命線だったのでしょ。



したのです。

余談ではありますが北伊豆地震関東大震災の時、余震の恐さに多くの人々が畳を家から運び出し、線路のところに敷き、周囲を家具で囲って数日を過ごしたといひます。重い汽車が通る事によって地盤が固くなるのでしょうか。科学的根拠については知りませんが。

さて蛇松線の名の由来となつた、蛇の松のように地表にくねくねとした初代の松は残念ながら流されてしまい、今は二代目の松が河原にあります。



今年の一小的新入学児童数は36人！少子化の波が押し寄せています

コミュニティの赤ちゃんこんにちは

生めよ増やせよ子供達！君たちも早く大きくなれ！



紹介シリーズ 教育文化部の1年

川島ひろみ

教育文化部では地区コミで行われている趣味の教室の参加者募集や開始までと運営上のお手伝いをしています。その他地域ふれあいコンサート、コミュニティ祭の展示などを主な仕事に、また納涼祭のバザーのお手伝いをしました。本年度の最後の事業として2月6日に市政ふれあいバスで施設めぐりを行いました。狩野川西部浄化センターでは下水道処理は微生物を利用して浄化され、24時間体制でシステムによって管理されていること、さらに普及率は全国平均より約20%下回っていることを知りました。清掃プラントでは焼却処理施設のろ過式集塵機や1次・2次冷却室などの多くの機械が新しくなったことを知り、煙突から出る煙は無臭とのことです。プラスチックご

みの中間処理施設では前者と異なり異臭を感じました。これはビニールに食品がついたままで洗っていないことに原因があることを知り、気をつけなければいけないことを実感しました。最後に庄司美術館では名画とパイプオルガンの生演奏の鑑賞ができ心をうるおし見聞を広げ、有意義な一日でした。来年度も皆様のご協力で教育文化部を盛り上げて下さい。

二年間ご協力ありがとうございました

平成14年度広報紙編集委員会

増田 幹夫(広報)
齊藤 雅美(総務)
若松 幹夫(総務)
服部 博義(広報)
中村 昭子(社会福祉)
川島ひろみ(教育文化)
山本 幸子(青少年補導)
鈴木 義寿(体育)
中川 寿一(防災指導)
大橋喜代美(婦人)
後藤ひろ子(コミカレ)
大川 芳子(コミカレ)
西野 雅彦(一小PTA)